

就職難や非正規雇用などを背景に、学生時代に借りた奨学金の返済がままならない人が、増え続けている。多くの大学生が利用する日本学生支援機構(旧日本育英会)の奨学金には、貸与や返還の条件が厳しく「実態にそぐわない」という指摘も。弁護士らのグループが対策を訴え、関心が高まっている。

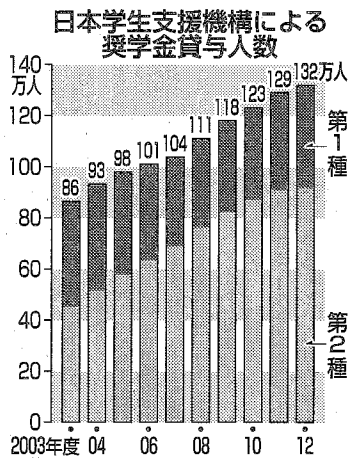
# 奨学金が返せない

「奨学金制度の改善 多くの大学がある東京を求めています。協 神田神保町の学生力ください」。周辺に 街。11月下旬、弁護士



奨学金制度の改善を求める署名活動＝東京・神田神保町

や教育関係者らでつくる「奨学金問題対策全国会議」のメンバーが署名を呼び掛けた。全国会議は3月に結成され、電話相談やシンポジウムを実施してきた。署名は11月末までの3カ月間で1万数千件分集まった。支援機構の奨学金は主に大学生が対象で、無利子の第1種と利子付きの第2種がある。バブル経済の崩壊以降、利用者が極端に増え2012年度は約132万人(うち約7割が利子付き)に。大学



## 抜本策を求める声

### 背景に若年層の貧困

生38%が利用している。一方で返済が滞る人は約33万人と02年度の約1.7倍に上る。「若年層の貧困化

奨学金を取り巻く環境が様変わりする中で、支援機構の奨学金は「教育ローン」のようになってきている。全国会議の共同代表を務める大内裕和・中京大教授(教育学)は指摘する。

国立大学の年間授業料は1980年代以降、値上げを繰り返して約54万円となる一方で、平均給与は98年以降減少傾向が続いてきた。大内教授は「高卒で就職すればいいという意見もあるが、求人数が極端に少ない現実

### 再発見 子供も

童謡はポップスと同じで、子どもたちに親しみやすくなければなりません。いくら名曲でも、四角四面のお行儀のよだけの歌は困ります。まず子どもの耳を引きつける必要があります。

子どもはジャズ、ロック、フォークから民謡までいろいろなカテゴリー音楽の中で生きています。子どもの音楽は芸術的に高度な音楽への第一歩になる可能性もありますが、まずは楽しい経験でなければいけません。西洋音楽が日本には

## カナダからの手紙

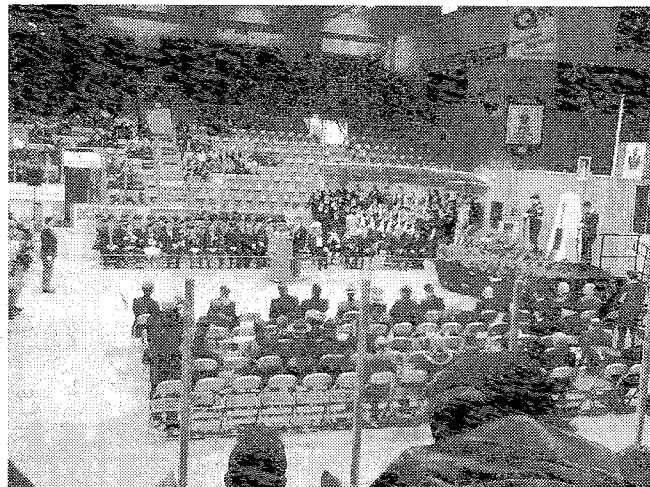
倉吉RC交換留学生の見た世界

浦田 大地

こんにちは。最近はお天気が厳しくなり、マイナス20度は当たり前になってきました。時々マイナス2度やマイナス3度になる時がありますが、その時は非常に暖かく感じます。

さて今回は、英霊記念日についてお話ししたいと思います。カナダでは、11月11日は英霊記念日という第1次・第2次世界大戦、朝鮮戦争の戦没者を追悼する法定休日です。

### 英霊記念日



11月11日のセレモニーの様子

面国は敵対関係(カナダは連合国側、日本は加盟国側)にあったため、カナダ国内に住んでいた日本人は強制労働させられたり、収容させられたりしたようです。しかし、今の2カ国間の様子を見る限り本心に想像もつきません。

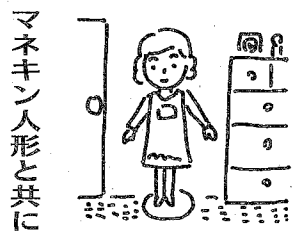
この場所が敵地だったとは考えられませんでした。僕は戦争を体験していませんが、正直戦争というものを実感できません。でも11日に参加したセレモニーで映し出された戦争の映像を見た時、単純に本当に恐ろしいものだと思いました。残念ながら僕はその程度のことしか言えませんが、僕にとって戦争は恐ろしい以外の何物でもないと感じています。あらためてなぜ戦争を求める人がいるのか、いつ世界が平和になるのか、僕はもっとたくさんの方が戦争について考える必要があると思います。

(カナダ留学中、倉吉市出身) (月1回掲載)

## 歳々元氣

加賀野有理

大学非常勤講師のAさん(76歳)は昨年夏、長年寝たきりだった妻に先立たれた。講義に出掛けるときはヘルパーを頼んでいたが、それ以外は何の介護も自ら行い、空いた時間はテニスや絵画制作などで、元気に活動している。



マネキン人形と共に

イラスト・山本祐司

後、急に一人でいることに耐えられないほどの寂しさに襲われた。何事も面倒に思えるよ

## くらし 家庭

つになる、そのうち朝起きられなくなった。別の都市に住む息子夫婦が心配して一緒に暮らすように申し出た

が、住み続けた町を離れたくない。また、妻の墓の面倒は誰が見るのかとも考えた。Aさんは慣れた家でひとり暮らしをする道を選んだ。そんな時、教職仲間が「マネキン人形を家に置くといえそうだよ」と教えてくれた。

半信半疑で中年女性をかたどったマネキン人形を購入し、仲間の教え通りに妻の形見の洋服を着せて帽子をかぶせた。すると次第に家の中が明るくなったように見え、人形に親近感を覚えている自分に気が付いたそう。

Aさんは「今では、本来の80%の元氣は取り戻せた」と感じているという。(サイエンスライター)

## きょうの雑学

藤宮親月

旧11月14日。赤口。

- 【1月】交友関係にカゲリが出ている。謙虚さと忍耐が唯一の予防策なり。
- 【2月】緊急要件で大量出費がある。家はムダな買い物をせぬよう検討を。
- 【3月】忙しい割に恵まれない。ムダなあがきはやめて時期を待つがよい。
- 【4月】ケタ外れのツキ。とくに人間関係のトラブルはいまが解決の好機だ。
- 【5月】誠意だけが解決のポイントに。かけ引きや打算は一切無用。北が吉。

- 【6月】金運好調。やりくり次第ではハソクリ倍増が期待できる日。努力を。
- 【7月】他人の助言は聞き流して。自分の判断に100%の自信を持つこと。
- 【8月】何ごともタイミングが大切。あわてることハマをやらす。落ち着け。
- 【9月】午前中の来客や電話は大吉。対応には十分気をつけて。ほからかに。
- 【10月】さ細なことから対人関係にヒビが入る。言動には十分注意が必要だ。
- 【11月】快調そのもの。大事な用件も午前中ならばほぼ成功する。精力的に。
- 【12月】時間や書類の管理に注意せよ。ルーズさが大事故を招きかねない日。